CCCCCCCCCCC

もくじ 小4®

言語事項 〈第1回~第4回のまとめ〉漢字の練習〈第1回~第4回のまとめ〉第5回	副詞()	形容詞・形容動詞(1)漢字の練習〈管・約・給・結〉	動詞()	名詞()
32 28	26 24 22	20 18 16	14 12 10	8 6 4
言語事項 〈第6回~第9回のまとめ〉 82 漢字の練習〈第6回~第9回のまとめ〉 82 第10回	作文の書き方	復合語・派生語	慣用句・ことわざ(2)	慣用句・ことわざ(1)

CCCCCCCCCCC

	言語事項 〈第11回~第14回のまとめ〉漢字の練習〈第11回~第14回のまとめ〉	第 15 回 類義語·対義語	漢字の練習〈則・効・務・勢〉	漢字の練習〈再・刊・判・制〉	第 14 回	同訓異字・同音異字・同音異義語	漢字の練習〈停・備・像・余〉	漢字の練習〈価・保・個・修〉	第13回	敬語(2)	漢字の練習〈仮・件・任・似〉	漢字の練習〈験・鹿・久・仏〉	第12回	敬語(1)	漢字の練習〈類・願・飛・香〉	漢字の練習〈陸・隊・静・順〉	第11回
S	92 88	86	84	82		80	78	76		74	72	70		68	66	64	
							言語事項 〈第16回・第17回のまとめ〉	漢字の練習〈第16回・第17回のまとめ〉	第 18 回	名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞(2)	漢字の練習〈報・墓・均・型〉	漢字の練習〈囲・圧・在・基〉	第 17 回	主語・述語・修飾語・文の基本型	漢字の練習〈告・喜・因・団〉	漢字の練習〈厚・可・句・史〉	第16回

98 96 94

110 106 104 102 100

【部 **漢 漢**

然



次の― -線の読みがなを書きなさい。

[部首] 読み	熟語と使い方練習	字の成り立ち	□○ 天然 の温泉がわきだす。 □○ 「大然 の温泉がわきだす。
舄 🖢 —	潟潟潟潟鴻鴻鴻鴻鴻		□② 全員の無事が確認された。
5	潟潟潟潟		
シーかた	新潟 干潟 00 100 100 100 100 100 100 100 100 100	と水で、遠浅の砂浜を表す。水鳥が上を向き口を開いている形	川③ 干潟 でカニを見つけた。
灯。片	灯灯灯灯灯灯	燈	□⑷ 街灯 がともり始める。
火 6 (ひ)	午後十時に消灯する。	にある火を表す。 足と背の高い器と火で、高い所足と背の高い器と火で、高い所	□⑤ 当然 の結果だ。
火いしゼン・ネン	从外外外外外外		
2 9	然然		□⑥無名の新人が受賞する。
)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		「燃える」「燃やす」の意。	
無過人・ブ	無無無無無無無無無無無無無	TT	
いるなーい	₹<	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	全員の無事が確認された。	子。(舞のもとの形。)	

火のので

灯

学習日 問

月 日

(8) トウダイのあかりが見える。

□(9) ここに置いた本がない。

(10) デントウの下で本を読む。

ブジ をいのる。

(I2) シゼンの美しさ。

(I3) [] (|4) 事故をミゼンに防ぐ。 他人に対する態度がよくないこと ブレイ なふるまい。

(16) (15) (14) (13) (12) (||)(10) (9) (8)

5

ヘイゼンとした態度。

(6)

(5)

<u>(4)</u>

(3)

ゼンゼンあてにならない話。

(3)

<u>(2)</u>

ムジュウリョク状態。

(2)

(I)

テンネン記念物に指定される。

(I)

がなで正しく送りなさい。

次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひら

照明をテントウする。

あかりをともすこと

(4)

[] (7)

ムリして体調をくずす。

にいがた、県の雪まつり。 (7) (6) (5)

(l6) ムゴンで立ち去る。

(I5)

トウコの値上がり。

まだ、そうなる前

3

焼

照

熊

熱

【部 **漢** 首 数 字 読み

熟。

語と使い方

練習

筆

順流

焼

焼

焼

焼

焼

焼

焼

焼

焼

焼

燒

(ショウ)

ヤーける

火

12

焼焼 夕焼け 焼き魚

日焼け

O 0

上げた様子。これに火を加えて、上げた様子。これに火を加えて、

(3)

焼くことを表す。

照 焼き魚を食べる。 照 照 照 昭

四

昭

昭

昭

昭

照 照明 照 照会 照 参照

13

てーらす てーる まショウ

テレビ局の照明係。

熊

熊

熊熊熊熊

能

能

能

能

能

能

能

熊

熊

///\

くま

熊本

熊手

白熊

○は ○2 る

熊本城を見学する。

15

あつー

熱湯

発熱

熱意

熱意が感じられる。

恵ネツ

埶

熱熱

熱熱

熱熱熱熱熱

杏

奉

坴

菿

埶

14

すみまで
照った
とったらに
火がつき、
らかにすること。
さらに火がつき、
明 すみまで照らすことを表す。

(5)

熱意が感じられる。

マを表す。 クマの形と火で、 火の精であるク

(7)

テレビ局の 照明

係。

て、あたたかいことを表す。人が植物を植える様子に火を加え

できた数

学習日 月 問 日

次のー 線の読みがなを書きなさい。

焼き魚を食べる。

字の成り立ち

(2) 竹製の熊手。

落ち葉などをかき集める道具

自ら発熱する物体。

電話で役所に 昭、会する。

(4)

(6) 熊本城を見学する。

夕焼け。

(8)

問

(8) ネッキに包まれた会場。

[] (9) くまもと駅に降り立つ。

(10) 石やきいもはおいしい。

原本とてらし合わせる。

(I2) あつ い風が吹く。

□鳴北極にいるしろくま。

[] (14) 日にやけた顔。

(I5) 二つのもののちがいがはっきりしている様子 タイショウ的な性格。

(16) (15) (||)(9) (14) (13) (12) (10) (8)

太陽がじっさいに地面をてらすこと	ニッショウ時間が減る。

(l6)

オーブンでお菓子をやく。

(6)

お茶をあつくする。

(6)

くまでで庭をそうじする。

(5)

<u>(4)</u>

やいたおもちを食べる。

(4)

(3)

少してれくさい様子の兄。

(3)

<u>(2)</u>

くまが冬みんから覚める。

(2)

(|)

ネッタイヤが続く。

(I)

がなで正しく送りなさい。

次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなもひら

っさいに地面をてらすこと	ンョウ時間が減る。
(7)	
	る。

記号

cc 言語事項 2

問

選び、

記号で答えなさい。

(||)

ア

学ぶ

1

名詞(1)

次の川~9の各組のア~エの中から名詞でない単語を一つずつ

できた数

問

きは、

×で答えなさい。

きのう、『東京にある動物園に行って、

明といっしょにた

〜**オ**から一つずつ選び、記号で答えなさい。また、名詞でないと

線部(1)~(5)の単語が名詞のときは、その種類を後のア

問

次の一

試は験が

国語 ウ

大学

エ

I あらゆる

小ささ I 苦しさ

こわかった。次は大型の鳥たちだ。まっ白なフクロウがじっと動

かずにこっちを見ている。「「何を考えているんだろう」と明は

顔をよく見ると、「目つきがギラリとするどくて「ぼくは(少しいしっぽ。明は「(ぬいぐるみみたいだな」とはしゃいでいたが、くさんの動物を見た。はじめにアライグマを見た。茶色の体に長

エ ミルク

ちは足がすくんで(まったく動けない。まるで、蛇ににらまれたって来た。(それは今にもぼくたちに飛びかかりそうだ。ぼくたのおりだ。いきなり(一頭のライオンがまっすぐに(ごちらにやジャングルのような(しげみをぬけるとガラスばりのライオントナーとディー;

カエル、いや、ライオンににらまれた獲物そのものだった。

I おどろき

エ す わる

I

エ おびる

(||)

勉強

(1)

ェ バ ス

(6)

(9)

ア

遊び

1

おび

ウ

さび

(8)

ア

電車

1

おりる

ウ

乗りかえ

(7)

ア

早起き

1

登校

ウ

着く

(6)

ア

ゆ

か

1

たたみ

ウ

ざぶとん

(5)

ア

やっぱり

1

がんばり

ウ

すべり

(4)

ア

お昼

1

ご飯はん

ウ

食べる

(3)

ア

笑ない

1

大きい

ウ

(2)

ア

どれ

1

あちら

ウ

あそこ

Ĭ ア 代名詞 普通名詞 1 形式名詞 固有名詞

ウ

(12)	(7)	(2)
(13)	(8)	(3)
(14)	(9)	(4)
(15)	(10)	(5)